



# Jupiter Jupiter SE Jupiter Presence

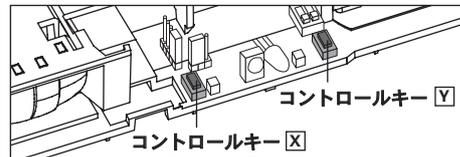
## 取り扱い説明書

### コントロールキーを使った プログラミング (リモート コントロール使用なし)

## 一般機能

### 注意:

- プログラミングは 25 秒以内で設定を終えないと、再設定となります。
- プログラムモードの間に、もしコントロールキーが押されている時はセットレベルが表示されています。(LED (赤) が点灯)これが点滅で遮断されるときは、新しい値が表示されます。
- LED (緑)ついている時は動作検知器が始動させられ、LED (赤)ついている時は存在検知器が始動させられます。



コントロールキー

## リセット

この機能は、全てのセンサーのパラメーターを工場出荷状態にリセットします。(取り扱い説明書参照)そして、ユニットにスイッチが入ったら、新たな初期設定段階が始まります。加えて、システムがリセットされるとアクセスコードは消去されます。

### リセット:

- ☒と☑を同時に8秒押す。
- 両LEDが、毎2秒ごとに短く光る。

## 動作検知器設定

### フィールドサイズ(感度)

レベル1から9

1. プログラム稼動および表示モード:  
コントロールキー☑を2秒間押す。  
両LEDが、毎2秒ごとに短く光る。  
→ LED (緑)が早く光る  
→ LED (赤)は現在のセットレベルに従って光る。(レベル1から9)
2. a) 値をレベル1まで上げる:コントロールキー☑を一度押す。  
→ LED (赤)が新しい設定に従って光る。  
b) 値をレベル1まで下げる:コントロールキー☒を一度押す。  
→ LED (赤)が新しい設定に従って光る。
3. 希望値になるまで、2aもしくは2bを繰り返し押す。
4. 値を保存する。(プログラムおよび表示モードは終了させる):  
☒および☑を短い時間で同時に押す。

範囲サイズは取り扱い説明書を参考。



Jupiter SE (非常口用): 指示によると“自動スライドドア非常口”の奥行き範囲は少なくとも1.5mであること。

### 方向認識

レベル1=オン

レベル2=オフ

1. プログラム稼動および表示モード:  
コントロールキー☑を4秒間押す。  
両LEDが、毎2秒ごとに短く光る。  
→ LED (緑)が早く光る。  
→ LED (赤)は現在のセットレベルに従って光る。(レベル1もしくは2)
2. a) 値をレベル1まで上げる:コントロールキー☑を一度押す。  
→ LED (赤)が新しい設定に従って光る。  
b) 値をレベル1まで下げる:コントロールキー☒を一度押す。  
→ LED (赤)が新しい設定に従って光る。
3. 値を保存する。(プログラムおよび表示モードは終了させる):  
☒および☑を短い時間で同時に押す。

# 存在検知器設定

## 検知エリアの奥行き

レベル 1 から 9

次のような場所において、この機能の使用を制限する必要があるかもしれません。例えば、動いている外部対象物が存在検知器のエリア内で望まれない検知の引き金になるような時、もしくは、ポイント保護のみに存在検知器を使うことを要求されている時などです。

検知エリアにおける静止対象物は、センサーの機能を損なうことなく自動的に学習されます。

### 重要:

この機能が使われている時、対応する受信及び/もしくは送信のレンズの部分は、供給されている粘着片でカバーされていることが必須です。

この場合下記に従い進める:

ステップ 1: リモートコントロールを使って要求されたレベルにプログラムする。

ステップ 2: 下記の表に従って、レンズ片を隠す

一指でレンズを触らない。

一しっかりとセットフィールドをテストする、および良い状態を見つけたら粘着片を下に押し込み。

一粘着片は適合された後 10 分以内だったら、簡単に取り外せる。

粘着片は 3 種類あります。

S = 小 (20 X 10 mm)

M = 中 (20 X 14 mm)

L = 大 (20 X 18 mm)

1. プログラム稼動および表示モード:

コントロールキー **[X]** を 2 秒間押す。

両 LED が、毎 2 秒ごとに短く光る。

→ LED (赤) が早く光る。

→ LED (緑) は現在のセットレベルに従って光る。(レベル 1 もしくは 9)

2. a) 値をレベル 1 まで上げる: コントロールキー **[Y]** を一度押す。

→ LED (緑) が新しい設定に従って光る。

b) 値をレベル 1 まで下げる: コントロールキー **[X]** を一度押す。

→ LED (緑) が新しい設定に従って光る。

3. 値を保存する。(プログラムおよび表示モードは終了させる):

**[X]** および **[Y]** を短い時間で同時に押す。

レベル	レンズ部分のカバー		範囲  検知範囲の上からの表示: 塗りつぶした丸はドア前部の起動範囲を表します。
	送信レンズ	受信レンズ	
①			
②			
③			
④			
⑤*			
⑥			
⑦			
⑧			
⑨			

\* 初期設定

様々な設置高の為の存在検知器のフィールド寸法は、説明書を参照。



選ばれた設定に関わりなく、全ての状態の時フィールドの設定が地域の適応基準の要求に対応しているかを確認すること。

## 感度

レベル 1 = 高 1

レベル 3 = 低 1

レベル 2 = 高 2

レベル 4 = 低 2

検知感度のレベル 1 は最高値、レベル 4 は最低値



レベル 1 および 2 は DIN 18650 : 2005 もしくは prEN 12650 : 1996 に準ずる  
レベル 3 および 4 は DIN 18650 : 2005 もしくは prEN 12650 : 1996 に準じない

二つの減少レベル 3 および 4 は、特に環境状態により変わるときに適しています。例: 落ち葉、水滴、雪など。



選択されたレベルに関わりなく、エリア設定が適応基準の要求に適しているか確認すること。

1. プログラム稼動および表示モード:

コントロールキー **[X]** を 4 秒間押す。

両 LED が、毎 2 秒ごとに短く光る。

→ LED (赤) が早く光る。

→ LED (緑) は現在のセットレベルに従って光る。(レベル 1 もしくは 2)

2. a) 値をレベル 1 まで上げる: コントロールキー **[Y]** を一度押す。

→ LED (緑) が新しい設定に従って光る。

b) 値をレベル 1 まで下げる: コントロールキー **[X]** を一度押す。

→ LED (緑) が新しい設定に従って光る。

3. 値を保存する。(プログラムおよび表示モードは終了させる): **[X]** および **[Y]** を短い時間で同時に押す。

## テスト入力 (両極性)

12 章はテスト入力の完璧な構造設定を含んでいます。

レベル 1 = 高アクティブ

レベル 2 = 低アクティブ

1. プログラム稼動および表示モード:

コントロールキー **[X]** を 6 秒間押す。

両 LED が、毎 2 秒ごとに短く光る。

→ LED (赤) が早く光る。

→ LED (緑) は現在のセットレベルに従って光る。(レベル 1 もしくは 2)

## 問い合わせ先

**Bircher Asia Pacific Sdn. Bhd.**

(Co. Reg. No. : 260319-T)

No. 3A, Jalan Dewani 1/1

Taman Perindustrian Dewani

81100 Johor Bahru

Johor, Malaysia

Phone ++60 7 276 18 10

Fax ++60 7 276 18 11

www.bircher-reglomat.com.my

info@bircher-reglomat.com.my

## 注意:

当社製品に関する技術データおよび推奨は経験に基づくもので、使用者の参考資料として記載されています。当パンフレットに記載された詳細やデータは製品の特性を保証するものではありません。これは製品の特性を画面で確認したものや個別の製品情報の確約に相当するものではありません。製品の改良に伴う技術上の変更の可能性があります。